

公の施設の広域利用に関するアンケート調査実施概要

1 目的

圏域内における体育施設や図書館などの公の施設の広域利用を推進するため、利用者等の意見や要望を把握した上で、利用方法の改善策、対象施設の拡充、施設間のネットワーク化等の利便性を向上する事業に今後も取り組むとともに、2年前の調査結果と比較し、制度の住民満足度の変化等を把握する。

2 実施主体

県央地域定住自立圏を構成する、水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村の9市町村

3 期間

令和元年8月～9月

4 対象

9市町村の公の施設の広域利用対象施設（スポーツ施設、会館、図書館など）の利用者に、アンケート用紙を配布して協力を依頼する。（1市町村100人程度）

5 調査内容

別紙アンケート調査票を参照

6 調査方法

アンケート調査票を各市町村で印刷し、各施設の協力のもと、利用者へ配布してその場で記入してもらい、回収する。

7 集計

各市町村の企画担当課は、施設から回収した調査票から集計表に転記し、集計表を事務局へ報告する。転記済み調査票の処分は各市町村の判断で行う。